

令和2年度事業報告

近年、国産牛肉の生産が微増してきた中で、和牛の格付割合は、規格「3」が減少し、規格「4」及び規格「5」が増加する傾向が継続したことから、和牛の週報での公表規格を、これまでの「3」から「4」に変更しました。

また、新型コロナウイルス感染症患者在令和2年1月に我が国で初めて確認されて以降、インバウンドの激減、外出自粛要請、2度の緊急事態宣言発出など、食肉業界をめぐる状況は激変しました。

こうした中、当センターは、出店者に対する貸付料の支払い猶予等を実施するとともに、コロナ禍の食肉業者をめぐる状況についてヒアリング等を行い、その概要を2回公表しました。

また、当センターとしては、既貸付施設の機能の維持向上を図るとともに、新たな部分肉流通の施設の整備等に係る工事請負契約を締結し、工事スケジュールに沿って工事を進めてまいりました。

1 令和2年度事業

(1) 部分肉価格公表関連

ア 令和2年度公表状況（参考1参照）

全国の主要食肉卸売企業から収集した部分肉情報を、公表地域（首都圏、近畿圏、中京圏、九州地域）ごとに畜種・品種・部位別に集計・分析の上、ホームページ、新聞、食肉業界紙等を通じて、日報及び週報等として、公表しました。

4地域における牛部分肉（和牛、乳牛、交雑牛、輸入牛）、豚部分肉（国産豚、輸入豚）の公表回数は、延べ1,378回／年でした。

また、部分肉価格情報を月報及び年報として取りまとめ、ホームページ上で公表しました。

イ 和牛「4」関連の公表システムの整備

和牛「4」規格公表のためのシステムの整備を行い、5月から週報として、和牛「3」に代えて和牛「4」の公表を開始しました。

ウ 新型コロナウイルス感染症関連での食肉業界の状況等を公表

新型コロナウイルス感染症関連で、食肉業界がどのような影響を受けているか、食肉卸売業者等からの聴取及び食肉の消費に関連する団体の統計の分析を行い、その結果の概要等をホームページで公表（令和2年8月及び12月）しました。

エ 価格公表業務関連調査

当センターが収集保管している価格取引データ等を活用して、部分肉と枝肉価格との相関関係等の分析を行い、その結果を、「枝肉価格と部分肉価格の相関等」としてホームページで公表しました（令和2年12月）。

オ 食肉流通実態調査Ⅱの実施

食肉卸売業と小売業等間の牛・豚肉の取引の実態を、平成30年度の販売量を下に、5年ぶりに調査・分析し、その結果を、印刷物として配布するとともに、ホームページで公表しました（令和2年6月）。

(2) 部分肉流通施設の貸付け、整備等

ア 新棟施設整備関連

新棟施設整備については、総事業費が増加する等の理由から、5月29日の理事会においてこの計画の第2次改訂を行いました。

9月30日に価格競争入札を実施した結果、鹿島建設(株)横浜支店が税込み50億49百万円で落札し、令和4年2月28日までを工期とする工事請負契

約を締結して、工事スケジュールに沿って工事を進めました。

なお、工事期間中に発生した建設用地に係る土壌対策費等の増加により、基本計画で予定している事業費について、約11億円の予備費を見込むこととしました。

新棟の名称は「卸売取引施設G棟」とする予定です。

また、当センターの福利厚生施設であるセブンイレブン店舗は、現在建設用地内にあることから、別な場所に移転することとして、令和3年5月21日までを工期とする工事請負契約を締結し、新規オープン後は現店舗の解体撤去を行う予定です。

新棟の入居者（令和3年3月末現在 13社21小間／22小間中）については、施設賃貸借予約契約に基づき、令和3年3月末までに定期建物賃貸借契約を締結する事務手続きを行いました。

新棟の建設用地にある契約駐車場の代替地については、川崎区千鳥町地区にある土地について、ケイティサービス(株)と土地賃貸借契約を締結し、中型車・大型車を移転していただき、小型車については、当センターに隣接する川崎マリエン駐車場に移転していただきました。

更に、新棟施設整備方針に基づき、新棟施設整備基金（資産取得資金）の造成を行いました。

イ 部分肉流通施設の貸付け

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により経営が悪化した食肉の販売・加工業務を行う出店者を対象に、当センターに要請があった場合は、貸付料月額額の50パーセントを限度に支払い猶予を実施しました（8社9契約）。
- ② 当センターにおける卸売取引施設等について、ホームページ上で募集案内を掲載するとともに、関係者からの情報収集、事業者への働きかけ等を行いました（参考2参照）。

ウ 施設の整備

① 通常修繕等

通常修繕等については、修繕計画に基づき、また、工事内容の緊急性、重要性等を勘案して計画的・経済的に、川崎センターではF棟空調機電源盤更新工事等、大阪センターでは南館防熱扉更新工事等を行い、施設・設備の機能の維持向上に努めました。

また、出店者の入退去に伴う施設の原状回復工事、既存出店者の借増し・移転に伴う工事等についても随時対応しました。

② 大規模修繕等（参考3参照）

大規模修繕等については、特定施設修繕基金（特定費用準備資金）を活用して、川崎センターでは、F棟オーバーヘッドドア等更新工事、E棟事務所棟衛生設備更新工事を実施しました。

また、大阪センターでは、北館1階C・D・Eオーバースライダー更新工事を実施しました。

エ 部分肉流通促進対策の実施等

部分肉流通促進対策の一環として、外部検査機関による衛生検査の結果を考慮して、川崎センターでは、共用部分等の専門業者による清掃・消毒等、F棟1階Bバース荷捌き室壁面防カビ対策塗装、F棟B・Cバース側溝清掃など、大阪センターでは、共用トイレ大・小便器の分解清掃を実施し、施設内の衛生水準の一層の向上を図りました。

また、川崎センターでは部分肉の急速凍結等の対策も実施しました。

(3) 調査研究、知識の普及及び研修

ア 研修会の開催

新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、研修会の開催を中止しまし

た。

イ ちくさんフードフェア

令和2年10月10日（土）・11日（日）に川崎センターにおいて実施する予定でした「ちくさんフードフェア2020」については、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、開催方法について種々検討してまいりましたが、来場者、出店者と関係者の安全・健康を第一に考慮して、中止といたしました。

ウ 食肉流通標準化システム協議会の運営

食肉流通の効率化を促進するため、物流標準化関係機関等と連携しつつ、食肉流通標準化システム協議会の事務局として、食肉流通システムの標準化に向けた取組みを推進しました。

(4) その他

テレビ会議システムの導入

川崎・大阪間の両センター間のコミュニケーションの促進、意思決定の迅速化等を図るため、コロナ禍におけるテレワーク環境にも対応したテレビ会議システムを導入し、部長・審査役会議や大阪事業部の入札案件で活用しました。

2 理事会及び評議員会

(1) 第1回理事会（定例理事会）（令和2年5月29日）

開催方法 電話会議による開催

決議事項 令和元年度事業報告及び決算、新たな部分肉流通施設の整備に関する基本計画（第2次改訂）、業務規程の改正、職員就業規程の改正、組織規程の改正、定時評議員会の招集

報告事項 理事の職務執行状況（令和2年度第1回）

出席等 決議に必要な出席理事の数 6名

出席10名、欠席 1名、監事出席2名

(2) 第1回評議員会(定時評議員会) (令和2年6月16日)

開催方法 電話会議による開催

決議事項 評議員の選任

報告事項 令和元年度事業報告及び決算、理事会決議事項等、
新棟施設の整備に係る準備状況

出席等 決議に必要な出席評議員の数 7名

出席13名、欠席 0名、監事出席2名

(3) 第2回理事会(定例理事会) (令和3年3月15日)

開催場所及び方法 公益財団法人日本食肉流通センター
テレビ会議及び電話会議を併用

決議事項 令和3年度事業計画及び収支予算

令和3年度資金調達及び設備投資の見込み

一時借入金の限度額

組織規程の改正、職員就業規程の改正

報告事項 新棟建設の経過報告及び今後の予定

理事の職務執行状況(令和2年度第2回)

出席等 決議に必要な出席理事の数 6名

出席10名、欠席 1名、監事出席2名

3 役員の変動

なし

4 評議員の異動（任期満了に伴う再任と新任）

再任評議員数 12名

新任評議員数 2名

5 会計監査人の異動（任期満了に伴う再任）

再任会計監査人数 2名

【参考 1】 部分肉価格情報の公表方法（公表機関、地域等）

公表機関		公表地域	公表日	公表品目	部位
日本食肉流通センター ホームページ	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日更新	豚カット肉「I」	7	
		毎週火曜日(週間)	豚カット肉「I」	7	
		毎週水曜日更新	乳牛チルド「2」	13	
		毎週火曜日更新	和牛チルド「4」	15	
		毎週水曜日更新	交雑牛チルド「3」	13	
		毎月 3,18 日更新	輸入牛肉	20	
		毎月 3,18 日更新 業務月報(毎月更新)	輸入豚肉 全品目	14 全部位	
日本経済新聞（全国版）	首都圏	毎日(公表日翌日) 毎週木曜日 毎週水曜日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」	7 12 12	
神奈川新聞	首都圏	毎日(公表日翌日) 毎週木曜日 毎週水曜日 毎週木曜日 翌日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」 輸入牛肉	7 12 15 12 20	
日本農業新聞（全国版）	首都圏 近畿圏	毎日(公表日翌日) 毎週木曜日 毎週水曜日	豚カット肉「I」 乳牛チルド「2」 和牛チルド「4」	7 13 15	
日農 net アグリ市況 (https://www.agrishikyo.jp)	中京圏 九州地域	毎週木曜日 翌日 翌日	交雑牛チルド「3」 輸入牛肉 輸入豚肉	13 20 14	
食肉通信社	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日(公表日翌日)	豚カット肉「I」	7	
		前週分(週間)	豚カット肉「I」	7	
		毎週水曜日	乳牛チルド「2」	13	
		毎週火曜日	和牛チルド「4」	15	
		毎週水曜日	交雑牛チルド「3」	13	
		翌日から10日後 翌日から10日後	輸入牛肉 輸入豚肉(首都圏)	20 14	
食肉通信(週報)	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	前日まで1週分	豚カット肉「I」	7	
		前週分	乳牛チルド「2」	13	
		前週分	和牛チルド「4」	15	
		前週分	交雑牛チルド「3」	13	
食品産業新聞社(畜産日報)	首都圏 近畿圏 中京圏 九州地域	毎日(公表日翌日)	豚カット肉「I」	7	
		前週分(週間)	豚カット肉「I」	7	
		毎週木曜日	乳牛チルド「2」	13	
		毎週木曜日	和牛チルド「4」	15	
		毎週木曜日	交雑牛チルド「3」	13	
		翌日	輸入牛肉	20	
		翌日	輸入豚肉	14	
全国生鮮食料品流通情報センター	首都圏・近畿圏 中京圏・九州地域	毎月 3、18 日更新 依頼者へFAX	輸入牛肉	20	
肉牛新報社(肉牛ジャーナル)	首都圏 近畿圏	毎月第4週を最新号で	和牛チルド「4」 交雑牛チルド「3」	15 13	

(注) 1 公表地域とは、部分肉価格の取引データを収集し、公表の対象としている地域

2 当センターの部位数は、最も多い地域の部位数を記載

【参考2】 当センターの入退去状況

入退去者数 退去者 9者 (川崎 9者、大阪 0者)
 入居者 9者 (川崎 8者、大阪 1者)
 借増し 1者 (川崎 0者、大阪 1者)

入退去小間数

棟号	平成元年度末	令和2年度			備考
	空き	退去	入居・借増し	空き	
川崎A棟	2小間	5小間	3小間	4小間	
B棟	6小間		3小間	3小間	
C棟	0小間	1小間		1小間	
D棟	0小間	0.5小間		0.5小間	
E棟	0小間			0小間	
F棟	0小間	3小間	2小間	1小間	
大阪北館	2小間			2小間	
南館	4小間	1小間	2小間	3小間	
計	14小間	10.5小間	10小間	14.5小間	

注1：同一者が当センター内で移転した場合、入居、退去の双方にカウントしている。

注2：退去とは、出店者が施設を撤退した場合をいう。

注3：大阪の空き小間は事務室である。

【参考3】 特定施設の整備

特定施設修繕基金による整備

	事業費の予定額	整備計画年度
特定施設の整備	11.4億円	平成26～35年度
基金の積立額（平成26年度）		10.0億円（既使用額9.5億円）
基金の現在額（令和3年3月31日現在）	0.5億円	